

各学科・専攻学修状況の報告 (1) 健康栄養学科の学修状況

○岸上 健康栄養学科の岸上です。よろしくお
願いたします。



本学の建学の精神が、「人らしく、
女らしく、あなたらしく、あなた
ならではの」とありますが、これは
女性の能力を伸ばして社会で活躍
できる人材をつくることを表して
いると思います。健康栄養学科で
は管理栄養士を養成するかたちで、
この建学の精神を実現させること
を考えております。

具体的な養成する管理栄養士像
がディプロマシーとして、1番、2
番に表すような人物を育てたいと
考えております。そのための実際
のカリキュラムは、カリキュラム
ポリシーとして、基礎科目と実践
形実習を配置し、科学的な能力を
持って社会で活躍できる人材を育
てるというかたちでコア・カリキ
ュラムを設定し、管理栄養士の養
成に努めています。

岐阜女子大学家政学部
健康栄養学科

あなたの夢を応援します
岐阜女子大学 健康栄養学科
Gifu Women's University

健康志向に応える「栄養」専門家

管理栄養士を主軸とした資格の組み合わせにより、
現代社会に求められている「栄養」専門家を育成します。

1 女子大学の意義と岐阜女子大学建学の精神

人らしく
女らしく
あなたらしく
あなたならではの

女性の能力を限りなく伸ばします

<健康栄養スライド1

健康志向に応える「栄養」専門家>

ディプロマシー

- 適切な態度、倫理観、コミュニケーション能力を備えている。
- 健康状態の指導・教育がおこなえる専門知識と技術・展開能力を発揮できる。

カリキュラムポリシー

コアカリキュラム
基礎科目と実践形実習を配置し、
科学的な能力を持って社会で活躍できる人材を育てる。

アドミッションポリシー

- 健康と食べ物との関係への興味と科学的な探求心を持つ方
- 食べ物を通して社会に貢献する仕事に関心のある方

<健康栄養スライド2 3ポリシー>

このカリキュラムポリシーに基づいて、受験生に対するアドミッションポリシーとして、健康と食べ物の関係への興味と科学的な探究心を持つ方、食べ物を通して社会に貢献する仕事に関心のある方に本学に来ていただいて、管理栄養士として養成していくような方針で運営しております。

カリキュラムポリシーの下で、コア・カリキュラムのなかでは三つの主要カテゴリー「食品学・調理系」「専門栄養系」「生理学・臨床系」の科目に配置しています。それぞれの三つのカテゴリーについてカリキュラムフローを作成し、そのカリキュラムフローに基づいた全体の教育計画などを考案し、作成して教育を実践しています。

カリキュラムポリシー
コアカリキュラム
基礎科目と実践形実習を配置し、
科学的な能力を持って社会で活躍できる人材を育てる。

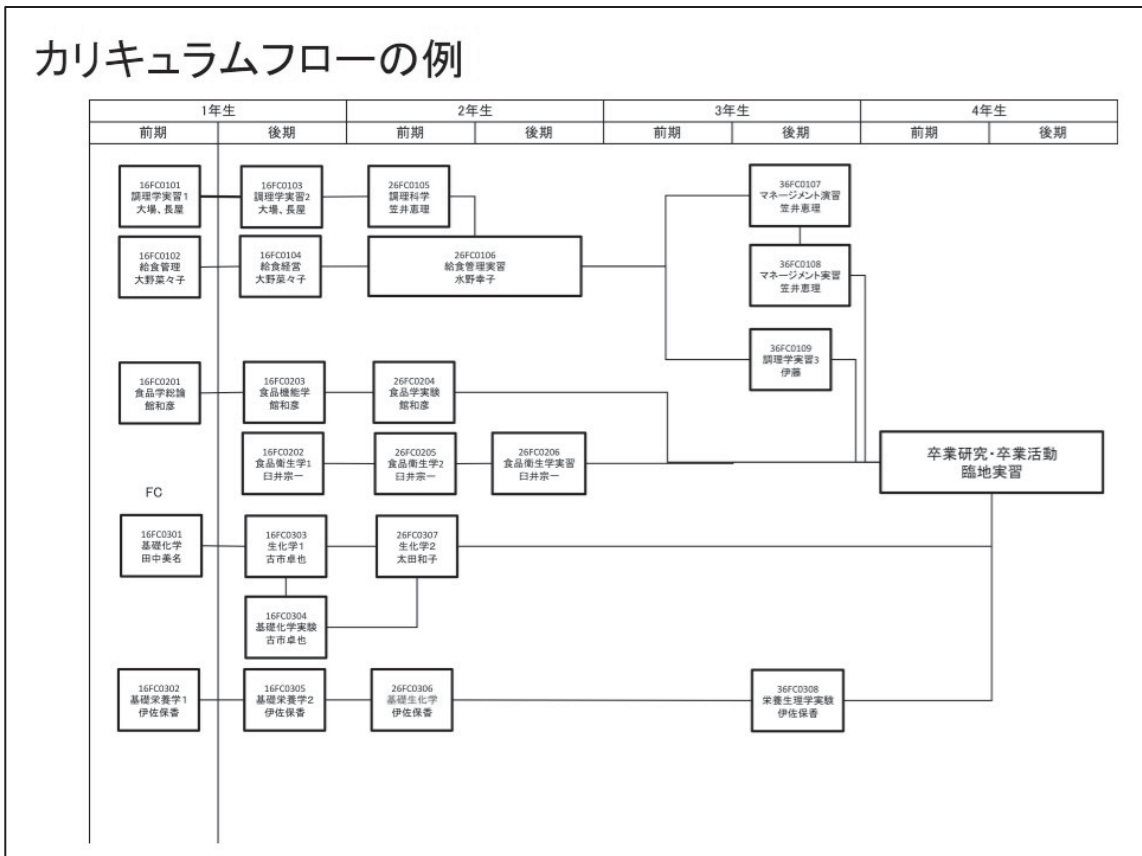
コアカリキュラムの3つの主要カテゴリー

- (1) 食品学・調理系
- (2) 専門栄養系
- (3) 生理学・臨床系

↓
カリキュラムフロー

<健康栄養スライド 3

カリキュラムポリシー>



<健康栄養スライド 4 カリキュラムフロー例>

これがカリキュラムフローの例です。このように学年ごとの科目が、どのようにつながっているかを構築しています。総合的にその全体の管理栄養士の養成に向けて、ここに表しているようなカリキュラムフローに基づいた取り組みをおこなっております。

ここでまとめておりますのは、学科で従来から取り組んでいることです。先ほどお示ししました三つのカリキュラムフローに基づき、「入学前学習支援」「初年次教育」「専門教育」と続くなかで、最終的な「資格取得」を目指したカリキュラムを組んでおります。

コアカリキュラムのカリキュラムフロー
 (1) 食品学・調理系 (2) 専門栄養系 (3) 生理学・臨床系

入学前学習支援—初年次教育—専門教育—資格取得

アドバイザー制度 年3回以上の面談
 GPAによる成績管理、補習授業、国試対策室

実践力養成の充実

- ・食物栄養学会 → 学生の自主性の養成
- ・栄養マネジメント → ガンバレご飯
- ・実習先の病院と提携した臨地実習
- ・家庭料理技能検定、栄養士実力認定試験

<健康栄養スライド5

このようなカリキュラムの下 コアカリキュラム他>
 で、学生の学修を補完するかたちでアドバイザー制度をつくり、年3回以上、学生と面談をおこないます。また、学生の成績をGPAに基づいて管理し、その学生の学修状況に応じたフォローアップをする補習授業の配置、あるいは資格取得のための国試対策を専門に特化した国試対策室を設けたりするなかで学生の育成に努めています。

また、実践力の養成がカリキュラムポリシーのなかにあります。実践力に必要な学生の自主性を養成するために「食物栄養学会」を設けて、学生に自主的に運営する場を提供しています。

また、授業のなかでも「ガンバレご飯」という取り組みがあります。4年生が受験するときに、3年生が2月～3月のランチを提供するかたちで受験生を支援します。同時に来年の自分たちの姿を見て準備を考えてもらうという目的です。また、重要な臨地実習も、実習先の病院と提携して連絡を密にしたかたちでおこなう体制をつくっています。

それ以外に、外部の評価を受ける機会として、1年生のときに家庭料理技能検定

を受けたり、3年生のときに栄養士実力認定試験を受けて、その時点での個々の学生の能力がどのような状態にあるかを把握できることを取り入れています。

従来、このような取り組みをおこない、また今年度も充実させたわけですが、新たに三つの取り組みをおこないましたので、そちらについての説明をさせていただきます。

一つがグレードアップテスト、二つ目がアゴラクラスの運営、三つ目が長寿健康栄養学センターの設立になります。

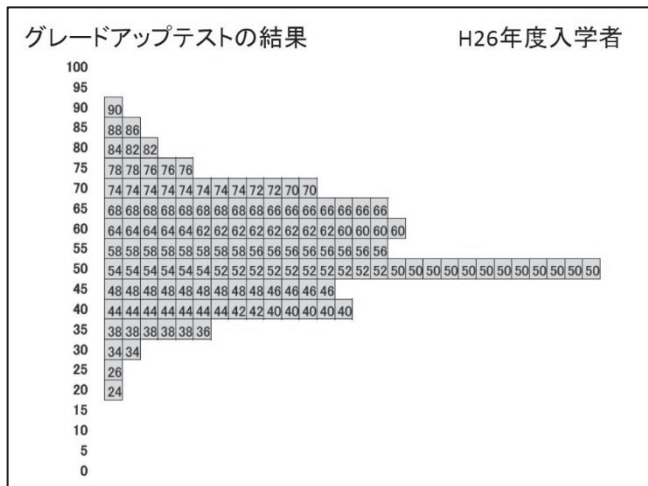
まずグレードアップテストですが、入学前課題から初年度教育につながるのところにおいて、まず学生個々の学力がどのようなものかということをきちんと把握したいということで、入学するときに新入生全員に化学・生物の内容のテストをおこないました。

今年度の新規の取り組み

- ・入学前課題・初年度教育
 グレードアップテスト（化学・生物）
- ・実践型補習授業の充実
 アゴラクラスの運営
- ・地域連携活動の充実
 長寿健康栄養学センターの設立

<健康栄養スライド6 今年度の取り組み>

これはテストの結果です。縦が点数、横がヒストグラムのかたちになっております。学力上位の学生は自立自学を支援するようなかたちで対応するのが望ましいと考えます。また、国試対策室などのデータに基づきますと、ヒストグラムの中央より下の学生の学力を伸ばしていかないと、資格取得の状態まで結び付かないという点があります。



<健康栄養スライド7

グレードアップテストの結果>

そのような分析を背景に、先ほどの取り組みのなかで、学生をどう指導していくか

を考えていく根拠にしていきたいと考えております。

得点分布の中央より下部の範囲に含まれる学生に対する対応としての取り組みが、二つ目のアゴラクラスになります。

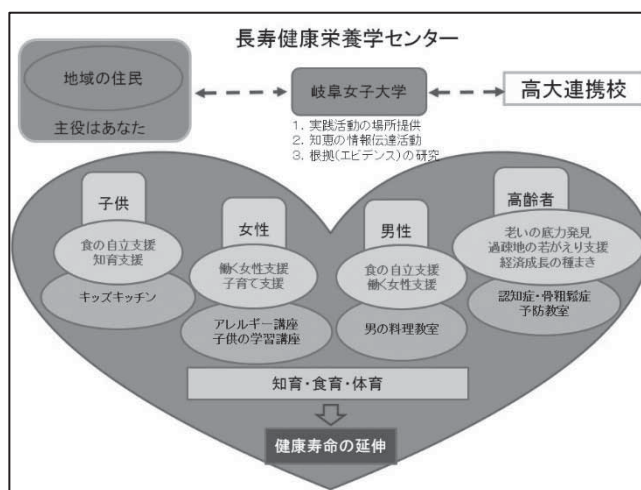
これは実践活動を目指した学修補完活動として、本年度、取り組みました。これは実践経験を積むことによって、座学で専門知識を学ぶことの必要性や現場で知識の実践をおこなう必要性を感じてもらふこと、その経験を通じて専門知識への興味を喚起すること、結果的に、座学勉強への自主性が強化されることを狙いにしております。

アゴラクラス 実践活動を目指した学修補完活動

- ・狙い;実践経験 → 専門知識への興味への喚起
↓
座学勉強への自主性の強化
- ・アゴラクラス=Cクラス
1年生 調理への関心・グレードアップテスト結果
2年生 参加希望者の調査
3年生 調理師学校ダブルスクール選択者
- ・アゴラアワーの設定
寮食提供—メニュー企画・大量調理・経営

<健康栄養スライド8 アゴラクラス>

各学年にアゴラクラスを設定したのですが、1年生は料理へ関心を持っているということ、あるいは先ほどのグレードアップテストの結果などを参考にして、1クラスのアゴラクラスを設定しました。2年生は、1年生のときに参加希望を調査して、希望者をクラスにしました。3年生は、調理師学校ダブルスクールの選択者が調理への関心が強いということで、アゴラクラスに設定しました。各学年のアゴラクラス全体を通して寮食を提供するという活動のなかで、メニューを立てる、大量調理をおこなう、全体のメニューを含めた経営をおこなうことを学生主体でおこなわせました。活動のなかで狙いである専門知識への興味への喚起を期待しました。



<健康栄養スライド9

長寿健康栄養学センター>

次が3番目の長寿健康栄養学センターです。これは地域連携活動の拠点となるように立ち上げました。地域における食事に関係したいろいろな問題を解決する拠点として活動をおこないたいと考えております。この活動のなかに学生を参加させて、活動を通して、さまざまなことを学ぶ機会を提供できると考えております。

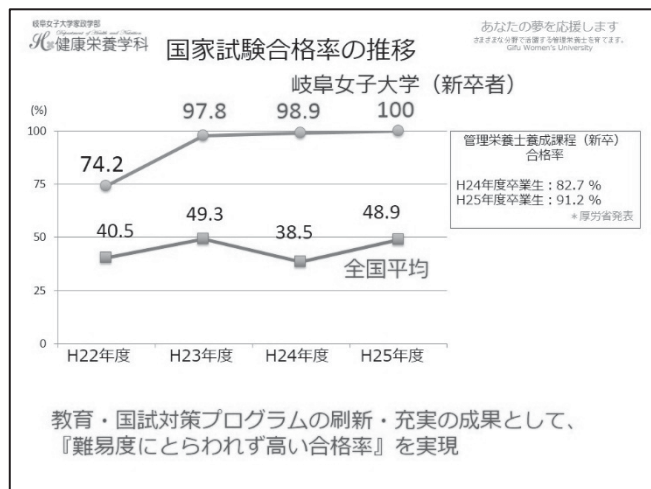
昨年の12月にオープニングセレモニーをおこないました。女子栄養大学の香川靖雄先生をお招きした学術講演会などを含むオープニングセレモニーでは、たくさんの方にご参加いただき盛大におこなうことができました。



<健康栄養スライド10

長寿健康栄養学センター記念講演>

以上のような取り組みのなかで、健康栄養学科の教育養成の成果をどのように測るのかですが、これは昨年度以前までの国家試験の合格率の推移です。赤色のグラフは全国平均です。全国平均がガタガタしているのは、その年によって難易度が変わっていると



<健康栄養スライド11 国家試験合格率の推移>

ということだと思います。近年、本学で安定して合格者を出しているということは、本学の取り組みのなかで、学生が実力をつけていることの一つの結果ではないかと考えています。健康栄養学科からの報告は以上です。ありがとうございました。

○司会 ありがとうございました。

続きまして、「住居学専攻の学修状況」について住居学専攻主任の森よりご報告させていただきます。